

大学改革シンポジウム

2018年6月29日(金) 13:00-17:00

政策研究大学院大学 想海樓ホール

東京都港区六本木7-22-1

主催：文部科学省、政策研究大学院大学科学技術イノベーション政策研究センター

協力：内閣府、（一社）日本経済団体連合会、（公社）経済同友会

大学改革の行方

平成30年3月、世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる大学が指定国立大学として選定された。政府、産業界からの大学の教育研究、マネジメントの質的高度化への期待は高まる一方である。日本の研究力を支える中心的な主体であった国立大学は、現在どのような位置にあり、今後どのような方向に進んで行くのであろうか。

このシンポジウムでは、我が国においてこれまで大学改革に深い関心と造詣とその政策に関わってきた、国立大学、政策担当者、産業界のリーダーをお招きし、それぞれの立場から、近年の大学改革の動向を振り返りながら、日本の国立大学の今後の行方について議論する。

プログラム

受付 (12:30-)

第1部：政府からの大学改革政策の提言

13:00 - 14:45	主催者挨拶 文部科学省
	来賓ご挨拶「イノベーションと大学改革」（仮題） 衆議院議員 自由民主党知的財産戦略調査会 会長 甘利 明 氏
	「大学改革のEBPM－神話を超えて－」 財務省主計局 次長 神田 真人 氏
	「CSTIの統合イノベーション戦略について」 内閣府（科学技術・イノベーション担当）審議官 赤石 浩一 氏
	「イノベーション創発を見すえた大学改革 ～振り返りと今後の方向性～」 文部科学省高等教育局 局長 義本 博司 氏

第2部：学術界ならびに産業界の視点から

パネルディスカッション

<登壇者>

15:00 - 17:00	上山 隆大 氏（総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員）
	五神 真 氏（東京大学 総長）
	小林 喜光 氏（経済同友会 代表幹事）
	中西 宏明 氏（日本経済団体連合会 会長）
	橋本 和仁 氏（国立研究開発法人物質・材料研究機構 理事長）
	山極 寿一 氏（京都大学 総長）

（※五十音順）

※プログラムは、変更の可能性があります。

シンポジウムの形式

第1部では、財務省、内閣府、文科省のそれぞれから、EBPMと大学改革、「統合イノベーション戦略」に掲げる大学改革、2004年の国立大学法人化以降の大学改革の軌跡を振り返り今後の政策を論じる。

第2部では、上山議員がファシリテーターとしてパネルディスカッションを行い、今後の大学改革の行方について率直な意見交換を行い、最後に意見の集約を議長サマリーの形で報告する。

取り上げる論点

- CSTIの「統合イノベーション戦略」における一連の大学改革
- 大学改革支援産学官フォーラムの設立
- 大学トップマネジメント研修の後継事業
- 各大学の取り組みと将来構想
- 国立大学法人の今後についての設計
- 高等教育のグランドデザイン

参加登録

最新プログラム及び参加申込はこちらをご覧ください。

<https://krs.bz/scirex/m?f=166>
参加費は無料<事前登録制>
(締切：6月26日(火)正午)



なお、申込みは定員に達し次第、締め切らせていただきます。

アクセス

政策研究大学院大学

<http://www.grips.ac.jp/jp/about/access/>

〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1

*会場は本学1階にあります。

*正門からお越しの際は、エレベーターで1階まで降りてください。

最寄駅

都営大江戸線六本木駅

東京メトロ日比谷線六本木駅

東京メトロ千代田線乃木坂駅



<問合せ先>

イノベーション経営人材育成システム構築事業「大学トップマネジメント研修」事務局

Email: ttm-ml@grips.ac.jp